



犢橋貝塚発掘100年祭



縄文儀式再現

【目的・内容】

さつきが丘公民館の目前に国指定史跡「犢橋貝塚」があり、大規模な発掘からちょうど100年にあたる日に「さつきが丘中学校区の住民に国指定史跡「犢橋貝塚」の魅力を伝え、人々が「犢橋貝塚」を地域の誇りとして感じることができる」ことを目的に、当公民館が中心となり犢橋貝塚発掘100年祭を開催した。

100年祭開催前には、子どもたちに「犢橋貝塚」をより理解してもらうため、公民館が連携の中心となり近隣小中学校の児童・生徒に千葉市埋蔵文化財調査センターによる出前授業を行い、当公民館のサークルには「犢橋貝塚」の発掘を行った東京人類学会の会旗や「犢橋貝塚」の絵画の制作を依頼し、当公民館館内に発掘成果物とあわせて展示した。

また、出前授業時に児童や生徒から犢橋貝塚のキャラクターを募集し、優秀な作品をデザイン化するため地域の方に作成を依頼した。100年祭当日、当公民館では「下総犢橋貝塚遠足会の記」の朗読会や関連図書の企画展示、ワークショップを行い、犢橋貝塚公園では、千葉市埋蔵文化財調査センターの「縄文鍋」の試食会やワークショップ、地域有志によるマルシェ等を開催した。

地域の方々や学校、他自治体や各種団体（縄文時代に交流のあった佐倉市、千葉市埋蔵文化財調査センター、かいづか文庫）等、様々な関係者と協働したことにより、犢橋貝塚発掘100年祭は、大成功裏に終了した。

【成果・課題と今後の対応】

【成果】

関係団体会議を継続開催して目的を共有し、それぞれができる範囲で参加を募ったことで、地域全体を盛り上げることができた。また、この取組みを通じ、地域や各種団体等との新たな繋がりを構築できた。

【課題と今後の対応】

犢橋貝塚の魅力を知り、地域の誇りとして定着させるには継続的な啓発が重要である。しかし大規模イベントを毎年開催することは人的・財政的に難しい。そのため当公民館では、日常的かつ継続的に実施できる手法として、少年・成人向けの講座を展開していきたい。あわせて、学校での授業においても知識の定着を図るため、今後も途切れることなく連携を継続していく。

【参加者の声】

- ・犢橋貝塚を大事にしたいと思った。
- ・今まで歴史に興味がなかったが、面白いことがわかった。地域の歴史をもっと知りたくなった。
- ・朗読がとても良かった。専門的な説明もあり100年前の地域の様子が思い描けた。
- ・縄文鍋がおいしかった。出汁のうまみが最高だった。



出前授業



図書室での関連図書展



朗読会



ワークショップ



完成した犢橋貝塚デザイン